

1. プログラム名	THIRD プログラム [タイの社会と文化]
2. 担当教員	近藤 祐一
3. 実習地	タイ
4. 開講年度	2019 年
5. 開講時期	秋semester
6. 科目	特殊講義(共通教養科目)
7. 開講言語	日本語
8. 単位数	2 単位 上限登録単位数に含む。
9. 科目概要	この授業では派遣地であるタイについて基本的な情報をオムニバス形式で学ぶことを目的としている。異文化であれ社会であれ、さまざまな視点から学ぶことがまず重要であり、この THIRD では特にタイを取り上げて学ぶ。またこの学びにより、タイの社会文化に対する知識と洞察を得、次の段階のフィールドキャップストーンで自分で学んだ項目について調査をすることによって個人のレベルでそれを確かめ、さらに後半のインターンシップにおいては十分なタイの社会文化の理解の元で取り組むことになる。
10. 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の課題（派遣ごとに設定されるテーマ）について講義による学問的なアプローチと実習を関連づけることができる。 ・ アジア太平洋の文化社会について学部での学習事項と関連づけることができる。 ・ テーマに沿った現地での活動に必要な知識を身につけ、それを将来的に活かす道筋を見つけることができる。 ・ 世界を変えるチェンジエージェントとしての基本的な知識を身につける。
11. 授業方法	この授業は原則的に日本語で行われる。講師は全て日本の大学院を修了したタイ人教員であり、授業中に行われる教員との質疑において日本とタイの比較に基づいて理解をすることが可能となる。トピック別に多数の講師が参加するオムニバス形式をとる。最終のリストの確定は秋になるが、以下の内容により行う予定である。
12. スケジュール	<p>第 1 回 タイの文化社会概論 1 タイ国の基礎知識、タイ国家主義の歴史</p> <p>第 2 回 タイの文化社会概論 2 タイ文化基礎知識、タイ社会事情</p> <p>第 3 回 言語としてのタイ語 タイ語の歴史と仕組み</p> <p>第 4 回 タイの文学 タイの文学の歴史</p> <p>第 5 回 タイ近現代政治史 タイ政治史の流れ、タイの現代政治</p> <p>第 6 回 タイの宗教 タイにおける宗教の役割</p>

	<p>第7回 タイの都市計画1 バンコクの近代都市化</p> <p>第8回 タイの都市計画2 バンコクの近代都市化（実地見学）</p> <p>第9回 タイでの町おこし1 バンコクにおける町おこしの事例研究</p> <p>第10回 タイでの町おこし2 バンコクにおける町おこしの事例研究（実地見学）</p> <p>第11回 タイ日交流史 近代後のタイと日本の交流の歴史</p> <p>第12回 タイ日ビジネス交流 日系企業のタイへの進出の歴史と、課題</p> <p>第13回 タイにおけるジェンダー・セクシュアリティ タイにおける現代のジェンダー・セクシュアリティの現状と課題</p> <p>第14回 授業のまとめ1</p> <p>第15回 授業のまとめ2</p> <p>学生はそれぞれの授業を元に行くつかのテーマを学際的にまとめ、レポートを作成し、提出する。</p>						
13. 成績評価方法	<table> <tr> <td>各講師の授業に対する小レポート</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>全体の授業に対するまとめのレポート</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>授業出席および討議参加</td> <td>20%</td> </tr> </table>	各講師の授業に対する小レポート	40%	全体の授業に対するまとめのレポート	40%	授業出席および討議参加	20%
各講師の授業に対する小レポート	40%						
全体の授業に対するまとめのレポート	40%						
授業出席および討議参加	20%						
14. 学生への要望事項	各授業に必要な予習、授業での発言、レポートを書くことによる復習に取り組むことが望まれる。						
15. 教科書	各講師の指定による。						
16. 参考文献							
17. 上記以外							
18. その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 募集人数：20 ● 最少実施人数：10 ● 派遣地域安全情報：レベル 1 						